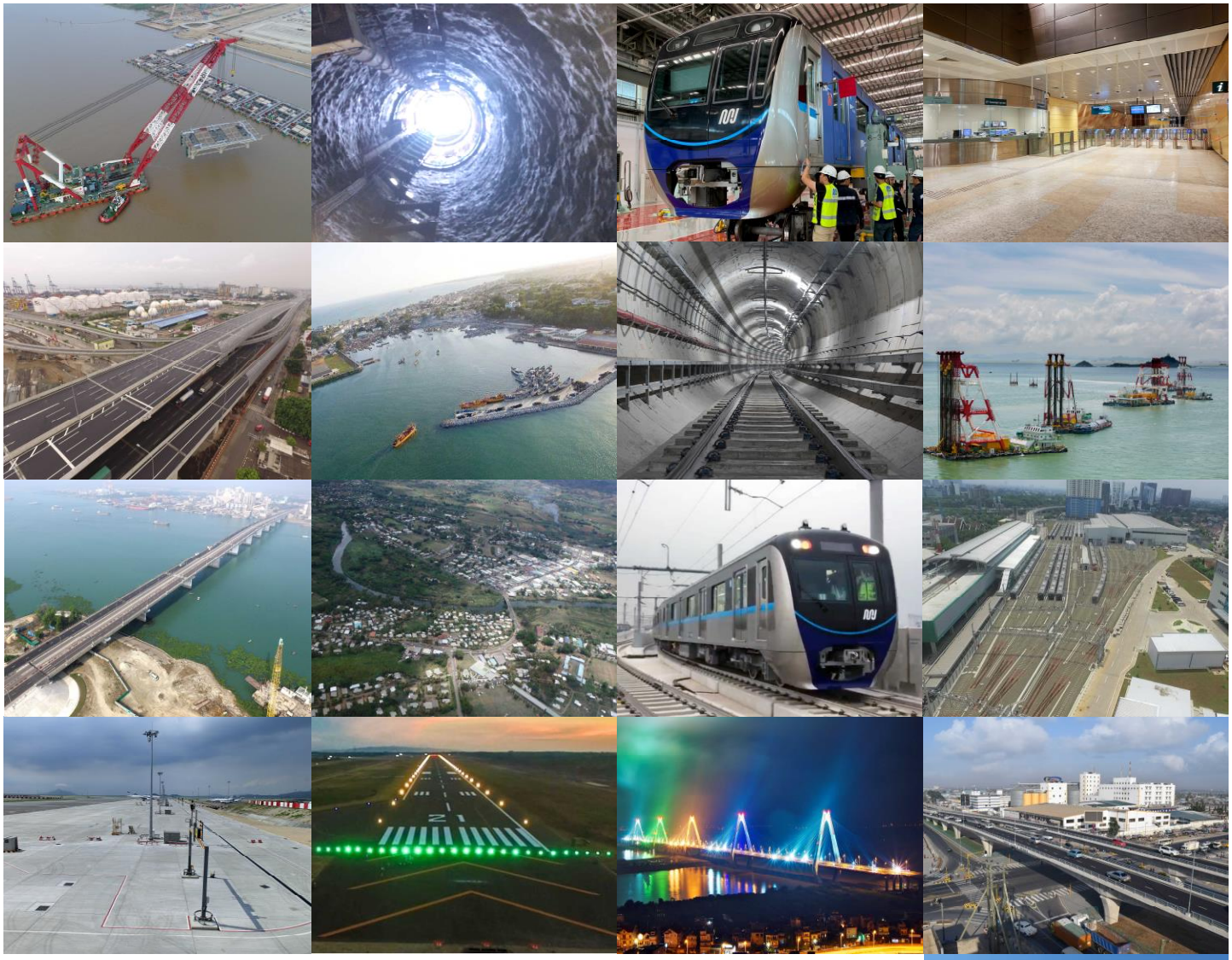


２０２０年度 海外インフラプロジェクト技術者表彰

国土交通大臣賞・国土交通大臣奨励賞 受賞者

国土交通省

表紙の写真（受賞対象となったインフラプロジェクト）

相川 秀一
東洋建設(株)
ティラワ港コンテナ
ターミナル建設工事
(ミャンマー)

岩田 修
西松建設(株)
セントラルカオルーン
幹線道路新設工事
ホーマンティン立坑工区
(香港、中国)

宇都宮 真理子
日本コンサルタンツ(株)
ジャカルタ都市高速鉄道
事業・運営維持管理支援
(インドネシア)

大縄 泰平
佐藤工業(株)
地下鉄ダウンタウン線
(第3期)936工事
(ベンクーレン駅建設工事)
(シンガポール)

大西 陽子
(株)大林組
タンジュンプリオク港
アクセス道路建設事業
(II)E-2A工区
(インドネシア)

木之下 一也
東亜建設工業(株)
セコンディ水産業振興計画
(ガーナ)

坂本 雅信
清水建設(株)
ジャカルタ都市高速鉄道
事業・104/105工区
(インドネシア)

鈴木 嗣成
五洋建設(株)
香港国際空港第三滑走路
建設地盤改良工事
(第1工区)
(香港、中国)

田部 元太
(株)大林組
カチプール・メグナ・
グムティ第2橋建設・
既存橋改修事業
(バングラデシュ)

豊田 高士
八千代エンジニヤリング(株)
ナンディ川洪水対策策定
プロジェクト
(フィジー)

南條 大助
(株)オリエンタルコンサルタン
ツグローバル
ジャカルタ都市高速鉄道
事業・施工監理コンサルタ
ンツ業務
(インドネシア)

野村 泰由
東急建設(株)
ジャカルタ都市高速鉄道
事業・101/102工区
(インドネシア)

橋詰 亮
(株)フジタ
香港国際空港西エプロン
拡張工事・P546工事
(香港、中国)

福原 教仁
(株)日本空港コンサルタンツ
新ボホール空港建設及び
持続可能型環境保全事業
(フィリピン)

松野 憲司
(株)IHIインフラシステム
ニャッタン橋(日越友好橋)
建設事業 パッケージ 1
(ベトナム)

丸二 信彦
三井住友建設 (株)
タザラ交差点改善計画
(タンザニア)

赤城 嘉紀
JFEエンジニアリング(株)
国道九号線橋梁改修計画
(ラオス)

梅木 知裕
八千代エンジニヤリング(株)
統合水資源管理能力強化
プロジェクト
(スーダン)

上床 和輝
新菱冷熱工業(株)
アブダビ首長国アブダビ
国際空港拡張に伴う地域
冷房プラント-1建設工事
(アラブ首長国連邦)

若松 友二
飛島建設(株)
コモロ川上流新橋建設計画
(東ティモール)

岡部 真佳
清水建設(株)
ジャカルタ都市高速鉄道
事業・103工区
(インドネシア)

杵築 秀征
西松建設(株)
地下鉄観塘延伸線1001工事
(香港、中国)

黒田(藤岡) 杏
五洋建設(株)
センカン総合病院建築工事
(シンガポール)

清水 憲一
飛島建設(株)
上水道改善計画
(パラオ)

高岡 泰弘
日本工営(株)
新タケタ橋建設計画
(ミャンマー)

滝 直也
(株)IHIインフラシステム
ニャッタン橋(日越友好橋)
建設事業 パッケージ 1
(ベトナム)

中田 直樹
東急建設(株)
ジャカルタ都市高速鉄道
事業・101/102工区
(インドネシア)

村松 敬哲
東亜建設工業(株)
セコンディ水産業振興計画
(ガーナ)

※中央線より上段が国土交通大臣賞、下段が国土交通大臣奨励賞受賞者（記載位置は表紙写真に対応）（敬称略）

2020年度 海外インフラプロジェクト技術者表彰
受賞者に向けて

国土交通省としては、海外インフラプロジェクトにおいて活躍されている本邦企業の技術者に対して、その実績を認定するとともに、技術力、マネジメント力に秀でた技術者に対して表彰を行うこととし、2020年度が記念すべき第１回目となります。

2020年度の海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度においては、７０８名、1,０８１件の実績を認定するとともに、１７名の皆様に国土交通大臣賞を、また１１名の皆様に今後の更なる活躍を期待して国土交通大臣奨励賞を授与することとしました。ご受賞されました皆様に対し、心よりお祝い申し上げます。皆様、誠におめでとうございます。

海外プロジェクトに従事されている皆様におかれては、国内とは条件が異なる中で、卓越した技術と旺盛なる責任感をもってよく「質の高いインフラ」プロジェクトを完遂し、相手国の経済成長、民生の安定等に大きく寄与されていることを高く評価する次第です。

皆様が携われたプロジェクトでは、例えば、インドネシアのジャカルタでは、高速道路の通行止めを行わずに、その上部に曲線の橋梁を設置するための張出し工法（バランスドカンチレバー工法）を、当該国では初めて採用するなど、我が国の質の高いインフラプロジェクトの代表として、その役割を遺憾なく発揮されたほか、相手国の事情に応じて、維持管理や運営のための現地の技術者へのトレーニングを行うなど、ハード・ソフト一体となった、きめ細かな対応が行われました。

国土交通省としては、こういった取組をはじめ、海外で活躍されている企業や技術者等を適切に評価し、我が国の「質の高いインフラ」の更なる海外展開を支援するとともに、国内外を問わず、研鑽された技術者の皆様が益々ご活躍されることを期待します。

国土交通省大臣

海外インフラプロジェクト優秀技術者表彰式

　海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績を認定するとともに、特に優秀な技術者を表彰する制度を2020年度に創設し、2021年2月9日に認定証発行・受賞者の発表を実施しました。2021年3月24日に28名の表彰者に対し、オンラインにて表彰式を開催しました。

山田技監からの挨拶

山田技監（左）, 小澤委員長（右）と受賞者の記念撮影

国土交通大臣賞　受賞者全員

国土交通大臣奨励賞　受賞者全員

２０２０度 海外インフラプロジェクト技術者表彰
国土交通大臣賞・国土交通大臣奨励賞 受賞者（目次）

国土交通大臣賞

1. 相川 秀一　東洋建設(株)　4
   ティラワ港コンテナターミナル建設工事（ミャンマー連邦共和国）
2. 岩田 修　西松建設(株)　4
   セントラルカオルーン幹線道路新設工事ホーマンティン立坑工区（香港、中華人民共和国）
3. 宇都宮 真理子　日本コンサルタンツ(株)　5
   ジャカルタ都市高速鉄道事業（MRT 南北線フェーズ 1）運営維持管理支援（インドネシア共和国）
4. 大縄 泰平　佐藤工業(株)　5
   地下鉄ダウンタウン線（第 3 期）936 工事（ベンクーレン駅建設工事）（シンガポール共和国）
5. 大西 陽子　(株)大林組　6
   タンジュンプリオク港アクセス道路建設事業（II）E-2A 工区（インドネシア共和国）
6. 木之下 一也　東亜建設工業(株)　6
   セコンディ水産業振興計画（ガーナ共和国）
7. 坂本 雅信　清水建設(株)　7
   ジャカルタ都市高速鉄道事業・104/105 工区（インドネシア共和国）
8. 鈴木 嗣成　五洋建設(株)　7
   香港国際空港第三滑走路建設地盤改良工事(第 1 工区)（香港、中華人民共和国）
9. 田部 元太　(株)大林組　8
   カチプール・メグナ・グムティ第 2 橋建設・既存橋改修事業（バングラデシュ人民共和国）
10. 豊田 高士　八千代エンジニヤリング(株)　8
   ナンディ川洪水対策策定プロジェクト（フィジー共和国）
11. 南條 大助　(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル　9
   ジャカルタ都市高速鉄道事業・施工監理コンサルタンツ業務（インドネシア共和国）
12. 野村 泰由　東急建設(株)　9
   ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102 工区（インドネシア共和国）
13. 橋詰 亮　(株)フジタ　10
   香港国際空港西エプロン拡張工事・P546 工事（香港、中華人民共和国）

14. 福原 教仁　(株)日本空港コンサルタンツ　10
新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業（フィリピン共和国）
15. 松野 憲司　(株)IHIインフラシステム　11
ニャッタン橋（日越友好橋）建設事業 パッケージ１（ベトナム社会主義共和国）
16. 丸二 信彦　三井住友建設（株）　11
タザラ交差点改善計画（タンザニア連合共和国）
17. 若松 友二　飛島建設(株)　12
コモロ川上流新橋建設計画（東ティモール民主共和国）

国土交通大臣奨励賞

1. 赤城 嘉紀　JFEエンジニアリング（株）　14
国道九号線橋梁改修計画（ラオス人民民主共和国）
2. 梅木 知裕　八千代エンジニヤリング（株）　14
統合水資源管理能力強化プロジェクト（スーダン共和国）
3. 上床 和輝　新菱冷熱工業（株）　15
アブダビ首長国アブダビ国際空港拡張に伴う地域冷房プラント-1 建設工事
（アラブ首長国連邦）
4. 岡部 真佳　清水建設（株）　15
ジャカルタ都市高速鉄道事業・103 工区（インドネシア共和国）
5. 杵築 秀征　西松建設（株）　16
地下鉄観塘延伸線 1001 工事（香港、中華人民共和国）
6. 黒田(藤岡) 杏　五洋建設（株）　16
センカン総合病院建築工事（シンガポール共和国）
7. 清水 憲一　飛島建設（株）　17
上水道改善計画（パラオ共和国）
8. 高岡 泰弘　日本工営（株）　17
新タケタ橋建設計画（ミャンマー連邦共和国）
9. 滝 直也　（株）IHIインフラシステム　18
ニャッタン橋（日越友好橋）建設事業 パッケージ１（ベトナム社会主義共和国）
10. 中田 直樹　東急建設（株）　18
ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102 工区（インドネシア共和国）
11. 村松 敬哲　東亜建設工業（株）　19
セコンディ水産業振興計画（ガーナ共和国）

海外インフラプロジェクト技術者評価委員会（有識者）・謝辞　20

※敬称略。受賞者は国土交通大臣賞・国土交通大臣奨励賞のいずれも五十音順。

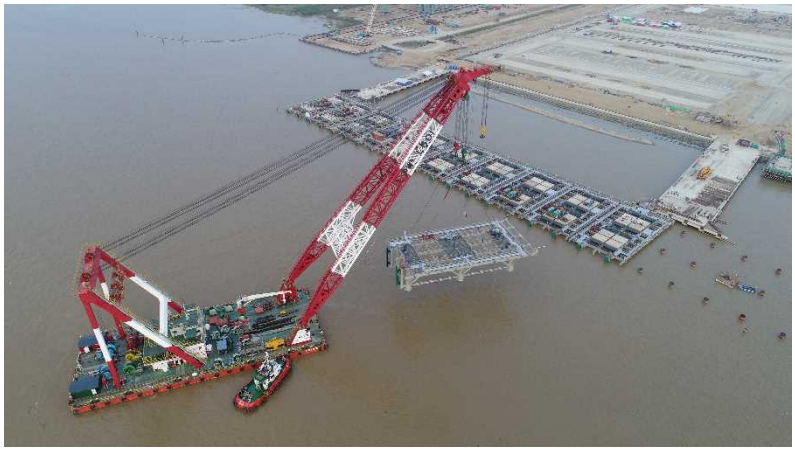
国土交通大臣賞・受賞者メッセージ

1.　相川 秀一　　東洋建設(株)

ティラワ港コンテナターミナル建設工事（ミャンマー連邦共和国）

このような名誉ある賞を受け賜り誠にありがとうございます。

海外工事はインドネシアのタンジュンプリオク港の改修工事に次いで2件目の工事でした。当工事は桟橋にジャケット方式が採用されており、施工経験のないエンジニアや作業員で国内と同等の品質を確保することが課題でした。特に、杭打ちには、より高い精度での施工が求められましたが、精鋭のフィリピン人クルーが操船する自社船で対応したことで、国内と同等あるいはそれ以上の品質を確保できたと自負しております。また、起重機船がジャケットを吊上げ、運搬する姿が珍しかったのか、ヤード工事や建築工事等を行っている他の作業員が手を止め、その様子を見ていたのが印象に残っています。



おかげさまで2年半という短工期にもかかわらず無事に工期内竣工することができました。これもプロジェクトに参画頂いた全ての皆様の協力のおかげだと思っています。皆様にはこの場をかりて御礼を申し上げます。

2.　岩田 修　　西松建設(株)

セントラルカオルーン幹線道路新設工事ホーマンティン立坑工区
（香港、中華人民共和国）

この度は、制度創設後初となる国土交通大臣賞受賞の栄誉にあずかり、誠に有難うございました。選考に当たられました技術者評価委員会の皆様と、これまでご指導頂き、また本賞に推薦頂いた会社や上司、諸先輩の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

本工区は、内径21m、深さ107mのトンネル換気立坑を建設するもので、地中連続壁施工時にはスラリーの急激な逸泥、立坑掘削時には想定以上の転石群への遭遇、市街地での発破作業など、多くの問題が発生しました。また、トンネル工区の地質調査工を行う中でも、香港で過去最長となる1.3kmの超長距離水平方向制御コアボーリングにおいて数か月に及ぶロッド拘束を経験するなど、様々な困難に直面しました。これら数多の困難を乗り越え、無事故無災害で遅延なく工事を完遂し、企業先である香港政府路政署様より、全工事中で最高点となる工事評点を受領いたしました。

工事にご協力いただきました協力業者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、本賞受賞を共に汗を流し、現場を支えてくれた現地スタッフの皆に捧げます。

3.　宇都宮 真理子　　日本コンサルタンツ(株)

ジャカルタ都市高速鉄道事業（MRT 南北線フェーズ 1）運営維持管理支援（インドネシア共和国）

本プロジェクトはインドネシア初の地下鉄を運営する鉄道事業者PT. MRTJの開業準備及び開業後支援を行うものであり、同社の若い鉄道技術者たちと議論しながら、組織のルールや体制を作っていきました。コンサルタントとしては、2019年3月開業という必達目標のもとで強いプレッシャーにさらされる彼らに寄り添い、課題を一つ一つ解決するのが仕事ですが、日本の鉄道事業者の経験があるとはいえ、インドネシアの文化や環境にあった解決法を提案し、理解してもらい、そして実行に移すのは簡単ではありません。それでも日本でやってきたことが役に立ったと感じる瞬間や、創意工夫を発揮する機会があり、鉄道エンジニアとしての醍醐味を存分に味わったと考えています。

2021年2月からはジャカルタにて次期プロジェクトに従事しています。今後も同国の鉄道の発展、そして日本の鉄道の発展に貢献できるよう、努力してまいりたいと思います。

4.　大縄 泰平　　佐藤工業(株)

地下鉄ダウンタウン線（第３期）936 工事（ベンクーレン駅建設工事）（シンガポール共和国）

この度は、栄えある第一回目の大変栄誉ある賞を賜り誠に光栄に存じます。

初めての現場代理人、期待を胸に工事前現地踏査で「ここに駅を？」とその工事環境に驚愕したのは１０年前。都心部に位置し、四面は既設建物に超近接、狭隘な作業帯、地盤は掘削深さの2/3が強固結砂岩の転石層、そこに深さ43mの駅を構築するものでした。

杭工事は強固な転石層に阻まれ１本打設に５日と想定を超える困難、狭隘な作業帯に最大８台杭打機を投入。併せて後工事を軽減すべく設計変更、VEを提案。逆巻き工法による掘削、躯体構築は２４時間体制で挽回。気の休まる時は一時もありませんでしたが、工事を走らせながらソフト、ハードの両面から多策を打ち、６８ヶ月の約定工期内に無事故で竣工を迎えることができました。

思い返すと苦労話しかありませんが、今日地域になじみ多くの方が駅を利用してくれているのを見るとやはりCivil Engineerとして感慨深いものです。

現在、当地の国際入札の競争環境は大変に厳しいですが、「Made by Japan」の底力を携え、引続き当地の社会発展に寄与していく所存です。

5. 大西 陽子　　(株)大林組

タンジュンプリオク港アクセス道路建設事業（II）E-2A 工区
（インドネシア共和国）

この度、第1回目の大臣表彰を頂戴したことは、技術者としてまことに光栄です。また、このような実績をつくる機会を与えてくださった会社、諸先輩方、支えてくださった関係者の皆様に深く感謝いたします。

交通量が多く渋滞が激しい現道上での作業、あまり例をみない大型のY字型橋脚、床版が最大50mと広幅員な上に一部はランプ橋と3層に立体交差、といった技術的な課題に加えて、土地収用の遅れ等による多数の追加・設計変更が加わって、累乗的に難易度が増すプロジェクトでしたが、ローカルスタッフと共に日々悪戦苦闘しながら、様々な困難を乗り越え竣工を迎えた時は、安堵感と共に大きな喜びを感じました。また、家族を大事にし、フレンドリーで寛容を是とする周りのインドネシア人スタッフとの日々の交流も、今では懐かしい思い出です。

このジャカルタでの貴重な経験を踏まえ、今後も技術者としての研鑽を続けていきたいと思います。

6. 木之下 一也　　東亜建設工業(株)

セコンディ水産業振興計画（ガーナ共和国）

この度は、海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞という栄えある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

ガーナに赴任するまで私個人としてはベトナム、キリバス及びバヌアツで海外工事を経験していましたが、アフリカに足を踏み入れる事自体が初めてであり、現地乗り込み時はかなり緊張したことを覚えています。

この工事は日本のODAにより1999年に完成した供用中の漁港の護岸、建屋、外構及び製氷設備を改修するものでした。地域に密着した漁港で多くの漁船が停泊しており、人が常に溢れていました。毎日のように発注者及び現地の管理事務所に足を運び、協力していただきながら工事区域を確保していました。

最盛期にはガーナ人エンジニア及びワーカーが約170人となりましたが、日本人の熟練工及び指導員の下、彼らが真摯に仕事に取り組んでいた姿が非常に印象に残っています。

ガーナの方々と一緒に仕事ができたこと、また、無事にこの工事を完成できたことで得られた喜びと充実感を今後の職務に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

7. 坂本 雅信　　清水建設(株)

ジャカルタ都市高速鉄道事業・104/105 工区（インドネシア共和国）

今回名誉ある賞を頂き、発注者、社内関係者、仕事を共にしたJVスタッフ、協力業者殿だけでなく、JICA、在インドネシア大使館関係者、関与していただいた皆様に深く感謝いたします。

当プロジェクトは設計施工によるインドネシアで初めての地下鉄工事であり、104、105工区はインドネシア国内では初めてのシールドトンネル2.6km、大規模逆巻工法による4つの地下駅舎、および460mの地下移行開削部からなっています。我々は設計施工の利点を生かし、数々の問題を解決して入札作業から7年後、2019年3月24日に無事開業を迎えることができました。

開業後、駅構内で残作業の点検をしていた時に見知らぬインドネシア婦人から「あなたはMRTの日本人エンジニアですか？」と聞かれたことがあります。「そうです」と答えると、彼女は「you made Jakarta better」と言ってきました。このことは日本人シビルエンジニアとして誇らしく、シビルエンジニア冥利につき、忘れることはないと思います。今後も今回の知見を活かしジャカルタ地下鉄二期工事を無事竣工させるべく邁進します。

8. 鈴木 嗣成　　五洋建設(株)

香港国際空港第三滑走路建設地盤改良工事(第 1 工区)
（香港、中華人民共和国）

この度は、栄誉ある国土交通大臣表彰を頂戴し、大変光栄に思います。土木技術者の職に携わってからこれまで、多くの皆様方より頂いたご指導とご支援の賜物と深く感謝いたします。

対象プロジェクトは、作業船による海上の地盤改良工事としては過去に例を見ないほど大規模で、かつ厳しい工期が要求されており、急速施工を遂行するために作業船数の確保と改良材の安定調達が課題でした。資機材の調達はJVパートナーである韓国業者及び香港業者と協力し、日本に加え韓国や中国の複数のソースを使って、時節や天候に左右されない安定供給に注力し、遅滞なく工事を進めました。自然堆積土と建設処分土が混在する複雑な土質には、施工方法や改良材の配合を細かく変えて対応し、安定した品質を確保しました。工事水域内には常時数百隻の作業船が稼働し、作業船間の細かな配船調整と工区間調整を行って安全運行に努め、無災害で完工、工期内で引き渡しを行い、顧客から高評価をいただきました。

9. 田部 元太　　(株)大林組

カチプール・メグナ・グムティ第２橋建設・既存橋改修事業
（バングラデシュ人民共和国）

栄えある優秀技術者賞をいただくことになり、関係者の皆様に感謝いたします。

30年前にバングラデシュ（バ国）に初めての海外赴任国として第1グムティ橋に従事したことを思うと、今回カチプール・メグナ・グムティ第2橋工事（本工事）で賞をいただくことには、バ国との縁を深く感じます。

本工事は着工6か月後にダッカ市内のレストランで起きた、邦人技術者の犠牲を伴うテロ事件に大きな影響を受けました。一時工事中断後4か月の短期間で安全警備体制を強化し、再開することができました。これはひとえに関係者の、またバ国側の驚くほど積極的な協力があっての結果でした。

結果的に3つの第2橋を当初予定より早く開通させることができ、交通渋滞に悩んでいた地元利用者からも高い評価を受けることができました。工事初期に非常に困難な状況に置かれ施主とも協力して乗り越えた一体感が、その後に良い影響を与えたように思えます。

最後に、工事に携わったJV及びローカル雇用スタッフ、日系及びローカル協力業者の方々、施主、エンジニア、大使館、JICA及び国交省をはじめとする諸官庁関係者に深く感謝申し上げます。

10. 豊田 高士　　八千代エンジニヤリング(株)

ナンディ川洪水対策策定プロジェクト（フィジー共和国）

この度は、輝かしい賞を頂戴し光栄に存じます。この栄誉は私個人の力ではなく、長年に亘り関与頂いている日本及びフィジー関係者全ての皆様のお陰であると実感しております。心から感謝申し上げます。対象流域に位置するナンディタウンは同国第３の重要な都市である一方、洪水に対しては脆弱で、気候変動による洪水被害の激甚化も懸念されており、洪水被害軽減は同国の優先課題となっていました。かかる中、日本は約30年前の1990年代から同流域の洪水被害軽減に取り組んできました。洪水対策マスタープラン策定に際しては日本の治水の知見・経験をフル活用し、統合水資源管理を念頭に置いた計画としました。洪水対策は全てを一気に整備できるわけではなく、現地の理解を得ながら優先事業を選定するのに非常に苦労致しました。本格的な整備はこれからですが、今回の受賞を糧に整備に向けより一層鋭意努力し、日本及び同国の発展、また他国への展開に尽力して参りたいと存じます。

※フィジー国提供資料

11. 南條 大助　　(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル

ジャカルタ都市高速鉄道事業・施工監理コンサルタンツ業務
（インドネシア共和国）

私は、以前ゼネコンでトンネル工事を担当していましたが、台湾新幹線プロジェクトの完成後、2007年2月にコンサルタントに転身し、ジャカルタ都市高速鉄道事業（本事業）の準備業務に従事しました。本事業は、私のコンサルタント業務としては初めての施工監理業務であり、大規模なプロジェクトであることに驚かされました。私は、地上と高架と鉄道システム・軌道工事と車両の全8パッケージの施工監理を担当致しました。本事業を実施する上で多くの問題に直面しましたが、その都度施主とコンサルタントと施工業者が一丸となり対処方法を検討し問題を乗り越えました。最後まであきらめずにやり遂げるということは、非常に大切であると実感させられ、完成後の開業式では今までに感じたことの無い達成感を感じました。約65か月の工期となりましたが予定通り完了することができましたのは、工事関係者の皆様のご支援・ご指導のお陰であり、心より感謝申し上げます。

12. 野村 泰由　　東急建設(株)

ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102 工区（インドネシア共和国）

この度は名誉ある国土交通大臣賞に選出して頂き心より感謝申し上げます。日本の技術者として海外のインフラ整備に貢献できること、また現地の方々と試行錯誤してモノを作り上げていく過程が何事にも変えられない喜びとなっております。若き20代後半の初めての海外プロジェクトの経験および30代で学んだ日本国内技術の習得を経て、40代にて海外プロジェクトに再チャレンジ。2013年より着工したインドネシア初の地下鉄、ジャカルタMRT第一期工事のプロジェクトマネージャーとして念願の地下鉄開業の予定日に間に合わすことが出来ました。この経験を通し援助国での国際貢献に寄与出来た事はもちろん、我々の先人として海外に渡り日本の技術を伝え続けた先輩技術者の方々に敬意を表すとともに、この制度の趣旨であります本邦企業がインフラ海外展開を進めるうえで技術者の国内・海外の相互活用が円滑に進むよう、また更なる成功を心より祈っております。

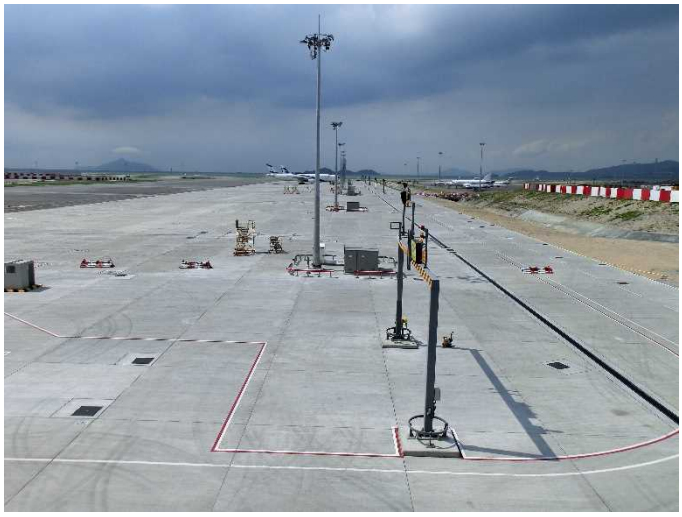
13. 橋詰 亮　　(株)フジタ

香港国際空港西エプロン拡張工事・P546 工事
（香港、中華人民共和国）

この度は、海外インフラプロジェクト技術者表彰・国土交通大臣賞にお選びいただき誠にありがとうございます。

私は、海外工事に携わって約６年になります。その間たくさんの方々にご指導いただきました。この度の受賞もその皆様のお蔭であると実感しています。

これまで香港国際空港ミッドフィールドエリアの開発、第３滑走路拡張プロジェクトに関わってきました。ここ２、３年は香港では民主化デモが起こり空港占拠や閉鎖が行われるなど当プロジェクトもその厳戒態勢の中で進めることとなりました。また現在も続くCOVID-19による影響もあり激動の時期を経てきております。



その過程でも本当に多くのことを学ばせていただけたことが、自分にとって貴重な経験であります。

今は、同じ香港空港内のプロジェクトを任されプロジェクトマネージャーを務めています。

今後も、多くの人たちとの絆を大切にして、プロジェクトの成功に向けて邁進していきたいと思っています。

14. 福原 教仁　　(株)日本空港コンサルタンツ

新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業
（フィリピン共和国）

この度は、栄誉ある「国土交通大臣賞」を頂き誠にありがとうございます。本事業は多岐にわたる専門分野の協調的な連携により長さ2500mの精密侵入滑走路、誘導路、A321型機が7機マルチ駐機できるエプロン、航空保安施設、旅客ターミナル、管制塔、消防署等を含む新空港一式を、地域の環境社会に十分配慮しつつ建設するものでした。世界遺産であるチョコレートヒルズを模して設計された旅客ターミナルには、太陽光発電、LED照明灯、VRF方式空調機、節水型トイレ等、環境負荷に配慮した施設・機器が最大限活用され、利用客にとって快適かつ魅力的な空間が提供されています。その中で、地域に頻発する商用電源の停止中にあっても、トロピカル気象に追従し瞬時変動する太陽光発電能力を最大限利用しつつ3台の非常用発電機を実用的かつ効率的に運転する仕組み作り等、同地域でなければ経験できない苦労も味わいました。今回の受賞を励みに、この経験を活かしつつ今後の空港事業の発展に寄与して参ります。

15. 松野 憲司　　(株)IHIインフラシステム

ニャッタン橋（日越友好橋）建設事業 パッケージ１
（ベトナム社会主義共和国）

今回、このような栄誉ある賞を賜り、土木技術者として大変光栄に思います。世界的にも珍しい６径間連続斜張橋を含む約3kmの高架橋を、高品質且つ安全に完工できました。特に斜張橋の建設では、5本の主塔からバランシング架設工法を採用し、現地のエンジニア、労働者とともに取り組み、工期を短縮しました。また、主塔基礎に採用した鋼管井筒基礎工法は、ベトナムの標準設計にも採択されました。

開通式は、当時の太田国土交通大臣閣下列席のもと、大勢の地元住民も参加し盛大に開催されました。開通後は、新空港とハノイ市街へのアクセスを大幅に短縮できたことはもちろん、ランドマークとしても認知されています。

ニャッタン橋は、目に見える、質の高い日本の優れた技術移転の代表作です。この成功は、発注者はじめ、事業関係者全員の努力の賜と考える所存です。

今後も、表彰の栄誉に恥じぬよう、技術研鑽に励み、さらなる国際貢献実現に向け努力したいと考えます。

16. 丸二 信彦　　三井住友建設（株）

タザラ交差点改善計画（タンザニア連合共和国）

このたびは、名誉ある「国土交通大臣賞」として表彰いただき誠にありがとうございます。本プロジェクトは、タンザニア連合共和国のダルエスサラーム市にある交差点を立体交差化するものです。市内で最も混雑が激しい交差点の１つであるタザラ交差点を、同国初となる立体交差化によりその慢性的渋滞を緩和させることを目的としています。タンザニア政府からの高い期待と注目のもと、周辺交通の供用を維持しながらも無事故無災害で完工できたことには、とても感慨深いものがあります。また、工事最盛期にマグフリ大統領御一行が当現場に来訪された際には、激励の言葉を頂くとともに、我々への労いとして食用牛を3頭贈呈して頂きました。そして、現場職員、作業員、その他関係者でバーベキュー大会を開催し、皆と楽しく過ごした一時は今でも強く記憶に残っています。最後になりますが、本プロジェクトにご協力頂きました関係者の皆様には心よりお礼申し上げます。

17. 若松 友二　　飛島建設(株)

コモロ川上流新橋建設計画（東ティモール民主共和国）

この度は国土交通大臣賞という大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。本プロジェクトに関わって下さった多くの方々のおかげにより、このような名誉ある賞を受賞することができました。皆様のご協力を心より感謝いたします。

本プロジェクトは、東ティモールの首都ディリ市を流れるコモロ川に、新橋及びそのアクセス道路を建設整備するもので、施工会社のプロジェクトマネージャーとして現場を担当いたしました。

橋梁の形式は同国初めてのPC箱桁橋であったため、協力業者の選定が困難でしたが、地元業者と第三国のPC箱桁橋工事業者を組み合わせ、工事を無事完了させることができました。

施工中は、重機オペレーターの教育訓練や周辺大学のインターンシップの受入れを実施し、また現地エンジニアの採用、周辺住民の雇用など、東ティモールの技術者育成と雇用創出に貢献いたしました。

今後、より一層の技術向上に努め、引き続き海外インフラプロジェクトに貢献していきたいと思います。

国土交通大臣奨励賞・受賞者メッセージ

1.　赤城 嘉紀　　JFEエンジニアリング（株）

国道九号線橋梁改修計画（ラオス人民民主共和国）

このたびは、名誉ある賞を頂き大変光栄に存じます。日頃から御指導頂いています皆様、御協力頂いた関係者の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

この場で感謝を伝えることのできないラオスの仲間との思い出の１つを紹介させて頂きます。

コンクリート打設中にプラントのサイロのモーターが突然止まり、セメントを人力で直接ミキサーへ投入するよう決めたことがありました。結果、深夜まで皆に残業を強いることとなってしまい、早朝から働いている作業員の皆の疲労と不満を想像するのは難しいことではありませんでした。最終バッチを確認し、プラントから現場に申し訳ない気持ちで到着した私に皆が求めたのはハイタッチでした。そこにあったのは疲れた顔でも不満の表情でもなく、緊急事態を一緒に乗り越えた喜びの共感でした。

海外で今働く私達に向けられる尊敬や親しみは先人の方々が誠実さと勤勉さを通して築き上げてこられたものです。この名誉ある賞、そして先人の方々に恥じぬよう一層精進を重ねて参りたいと思います。

2.　梅木 知裕　　八千代エンジニヤリング（株）

統合水資源管理能力強化プロジェクト（スーダン共和国）

スーダン共和国にはナイル川が貫流しているものの、年間降水量が300mm以下と限られ、水資源量が地域的に偏在して上手く管理できていない等の問題があります。この水問題に対して、水収支解析の実演指導を経て10名のスーダン共和国の省職員に解析を実践してもらい、また、彼らが抱える現状の水問題を一緒に考え、議論や問題の系統的な整理を促進支援する等の参加型アプローチにより、問題を抱える当事者としての「問題の気づき・特定」を促し統合水資源管理の確立を支援しました。10名もの相手国職員をプロジェクトに割り当ててもらえるようなことはあまりなく、プロジェクトに関与する人も多くいたため、円滑な活動を行うためのチームワークが鍵でした。拙いながらもアラビア語でコミュニケーションを図ってみたり、公私にわたって現地の文化・慣習を理解したり、どの国での業務でもそうですが、相手を理解しようとするという姿勢が良好な関係性と円滑な協働作業に繋がったと感じており、今回の表彰もチームワークの賜物だと考えています。有難うございました。

3.　上床 和輝　　新菱冷熱工業（株）

アブダビ首長国アブダビ国際空港拡張に伴う地域冷房プラント-1 建設工事（アラブ首長国連邦）

「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」における国土交通大臣奨励賞という光栄な賞を頂戴し大変嬉しく思っております。

「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会」の皆さま、そして受賞対象となったアブダビ空港地域冷房プラントのプロジェクトを完了するに当たりサポートして頂いた関係者の皆さまに深く感謝いたします。

このプロジェクトを通じ、様々な国からUAEに来る、駐在員や現地就職の外国籍社員、建設現場ではインド・パキスタン等のUAE国外から働きに来ている労働者たちと一緒に、様々な場面で仕事をすることができ、自分は国際的な環境で仕事をしているのだと実感できました。そんな日本とは大きく違うビジネス環境・文化の中、ハングリー精神を持ちバイタリティに溢れた人たちに圧倒されないように対応し仕事を進めることに苦労しました。

今回の受賞に奢ることなく、引き続き気を引き締めて海外での設備施工業務に取り組み、世界基準を身につけたエンジニアに成長していきたいと思います。

4.　岡部 真佳　　清水建設（株）

ジャカルタ都市高速鉄道事業・103 工区（インドネシア共和国）

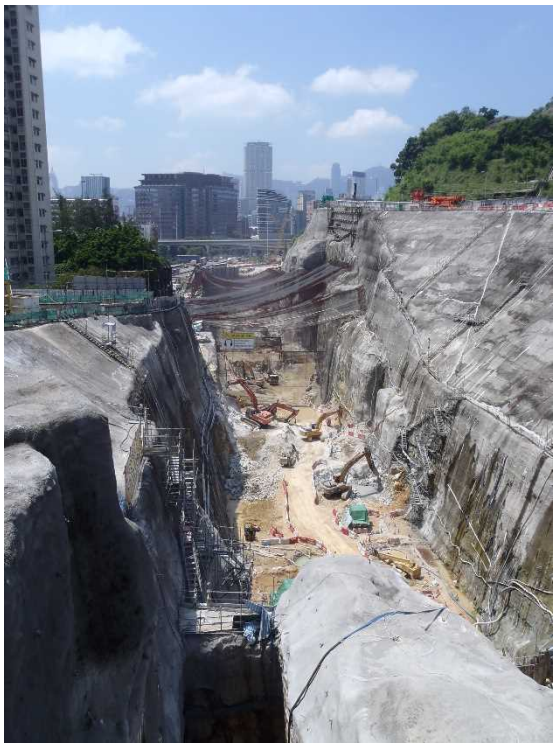
この度は、このような名誉ある賞を頂き、発注者、コンサルタント、協力業者、JV、関与頂いた皆様に感謝申し上げます。

CP103工区には、延長3.8kmの高架橋と4つの駅舎があります。私は高架橋の下部工および駅舎部の躯体構築を担当しました。高品質な物を安全にそして期限内に、を目標にローカルスタッフと共に日々奮闘しました。現場を離れる際、次のプロジェクトでも一緒にやりたいとローカルスタッフや協力業者の職長から言って頂き本当に嬉しかったです。

海外プロジェクトには現地人スタッフは欠かせません。また、彼らのやり方や習慣を理解し尊重し、そこに日本人の視点での施工管理の意見をコラボレーションさせることで、その地にマッチした、より良い施工方法を構築できると思います。そのためにはお互いに意見を言えるチームを築くことが重要です。幸運にも、このプロジェクトでは良いチームが出来、工事も無事に終えることが出来ました。次のプロジェクトでも良いチームが出来るよう、自分自身をもっと成長させたいと思います。

5.　杵築 秀征　　西松建設（株）

地下鉄観塘延伸線 1001 工事（香港、中華人民共和国）



この度は、国土交通大臣奨励賞という栄えある賞をいただき、この場をお借りして、関係者の皆さまに深く御礼申し上げます。

本工事は、私にとって初めての海外工事でした。海外勤務を希望していた私は、言語、文化、業務における組織形態や運営方法など、日本との違いに心が躍りながらも、戸惑いを感じ、自信が持てず、多くの失敗も経験しました。そのような状況でも、上司、同僚、現地スタッフに支えられ、何とか職務を果たすことができました。振り返れば、世界的にも例を見ない大規模な急傾斜オープン掘削、市街地における地表面発破、厳しい工期などの課題に、弊社の叡智と技術力を集結し乗り越えた難工事でした。

路線開通後、多くの利用者の姿を見ると、感極まるものがあります。「我々建設業は、人々の生活を安定的かつ豊かにすることによって社会に貢献する」という根幹は海外でも変わらない。その実感は、誇りや自信となりました。海外の業務では多くの苦労に直面しますが、そんな状況を楽しんでいきたいと思っています。

6.　黒田(藤岡) 杏　　五洋建設（株）

センカン総合病院建築工事（シンガポール共和国）

このたびは海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞という名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。このような賞を受賞できたのは、センカン総合病院建築工事に関わった皆様のおかげです。

当工事は延床面積288,000㎡の大規模な病院建築工事で、BIMを全面活用していました。

私は、日本国内での施工管理職としての経験を経て、2015年にシンガポールに赴任し、そこで初めてBIMを学びました。初めての海外勤務、初めての仕事内容で苦労もありましたが、BIMを通じて今までとは違った視点で仕事に取り組むことができ、面白さを感じました。そのほかにも、マネージメントやスタッフの育成など、日本国内とは違った環境で様々な経験ができ、社会人・技術者として大きく成長できたと思います。

これまでの女性技術者としての道のりは決して平たんではなく、辛いことも沢山ありました。ここまで来られたのはいつもそばで母や家族、まわりの皆様が応援してくれたからです。

この受賞が今後、私のような女性技術者にとって少しでも希望や勇気になればと思います。

7.　清水 憲一　　飛島建設（株）

上水道改善計画（パラオ共和国）

この度は海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞を賜ることとなりまして、非常に光栄かつ嬉しく思っております。これもプロジェクト関係者皆様の多大なるお力添えのお陰であり、深く感謝申し上げます。私は、観光国パラオの命である海洋環境保全と公共安全を最優先に考慮して汚水の海洋流出防止や第三者安全対策を徹底することで、本プロジェクトの無事故無災害と工期内竣工に貢献いたしました。その際、発注者や環境省、警察、協力会社、社内等の多様な利害関係者を適時適正に調整・取り纏めていったことが、私にとって最も苦労したことでした。今後も、私は業務を通じて、本プロジェクトで成しえたように持続可能な社会の実現へ貢献してまいる所存です。以上、甚だ略儀ではございますが受賞者コメントとさせていただきます。

8.　高岡 泰弘　　日本工営（株）

新タケタ橋建設計画（ミャンマー連邦共和国）

２０２０年度国土交通大臣奨励賞を授与いただき誠に有難うございます。これも職場の上司や仲間をはじめプロジェクトでお世話になった方々等、これまで私と関わってくれたすべての人たちのおかげです。今後に向けて身が引き締まります。

建設コンサルタントとして海外業務に従事して１０年強、様々な経験をさせて頂いています。「新タケタ橋建設計画」では詳細設計から施工段階までをプロジェクト最前線で携わりました。本邦技術である鋼管矢板井筒基礎やPCエクストラドーズド橋をミャンマー国で初めて導入し、現地への本邦技術の普及においては貢献できたと自負しております。技術移転プログラムを通じてカウンターパートの技術系職員の育成に尽力したことは自分にとっても掛け替えのない記憶です。

今後とも、土木技術者として国内外のプロジェクトでより一層の活躍ができるように、またコンサルタントとして本邦建設業の海外展開を後押しできるように精進して参ります。

9. 滝 直也　　（株）IHIインフラシステム

ニャッタン橋（日越友好橋）建設事業 パッケージ１（ベトナム社会主義共和国）

この度は名誉ある賞を頂くことができ光栄です。本橋は世界的に珍しい6径間連続斜張橋であり、また首都ハノイの中心部と国際空港を結ぶ重要路線の一部として、ベトナム国内外で非常に注目度の高いプロジェクトでした。学生時代よりずっと海外のランドマーク的な橋梁で社会貢献したいと考えおりましたので、本プロジェクトの担当に決まった時は大変喜んだことを今でも覚えています。

実際に工事が始まると、限られた日本人でベトナム人と協力しながら、多径間連続斜張橋のエンジニアリングという難度の高い仕事をする必要がありました。時にはベトナム人エンジニアには構造力学を基礎から教える必要があり、プロジェクトスタート時は大変苦労致しました。しかし粘り強く共に勉強を続け、工事終盤にはベトナム人が主体的に解析モデルを作り、斜張橋の精度管理を担うことができるようになりました。「次の斜張橋はベトナム人だけでもできる」という言葉を彼らから聞いた時は、橋梁の完成以上の達成感を得られたことを今でも覚えております。

10. 中田 直樹　　東急建設（株）

ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102 工区（インドネシア共和国）

今回、このような素晴らしい賞を受賞することができ、大変嬉しく思っております。

2014年にジャカルタに赴任し、約4年間当工事に従事しましたが、初めて経験する事が多く、戸惑う事ばかりでした。それでも、インドネシア人スタッフ達のサポートにより、何とか自分の仕事をやり遂げることが出来たと感じています。本当に良い思い出ばかりです。開業前に他国へ異動してしまったため、私自身はまだ現地でMRTに乗車出来ていないのですが、私が担当した駅舎をインドネシア人スタッフ達が、”NAKATA Station”と呼んでくれているという話を聞き、とても嬉しくなりました。

今後も、現地のエンジニアと協力し、地元の方々の生活の質を向上させられるような、インフラ整備の仕事に携わっていけたらと思っております。最後になりますが、これまで色々とご支援・ご協力して下さった関係者の方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。

11. 村松 敬哲　　東亜建設工業（株）

セコンディ水産業振興計画（ガーナ共和国）

この度は、海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞という名誉ある賞を頂きまして、誠に有難うございます。

受賞に至ったガーナ共和国での本工事では、地元住民を中心とした体制で工事を行いました。当初は、安全・品質管理に関する現地の方々の意識が低く、施工を通じてOJTでの技術指導を行ったり、日本の技術に関する教科書を翻訳した物を用いて勉強会を開いたりと、意識改革に非常に苦労したことを覚えています。

また、現地では機械および工具などの調達が難かった点にも苦労しました。それらは日本から2ヶ月かけて海上輸送したのですが、それらが故障すると現場が止まる事態に陥るため、保守点検を各自で行うなど、機械を大事に使い、道具に愛着を持ってもらうような指導も行っていました。

その甲斐あってか、結果として工事は大きな問題が起こることなく、無事に竣工することができ、非常に嬉しく思っています。

最後に、発注者及び現地メンバー、またご支援頂きました関係者の方々に、心より感謝を申し上げます。有難うございました。

海外インフラプロジェクト技術者評価委員会（有識者）

委員長	小澤　一雅	東京大学　教授
委員	池田　龍彦	放送大学　副学長
委員	加藤　佳孝	東京理科大学　教授
委員	蟹澤　宏剛	芝浦工業大学　教授
委員	北野　尚宏	早稲田大学　教授
委員	塚田　幸広	（公社）土木学会　専務理事
委員	中澤　慶一郎	独立行政法人国際協力機構　理事
委員	深澤　淳志	（一財）日本建設情報総合センター　理事長

（五十音順・敬称略）

※２０２１年１月　第３回評価委員会時点

謝辞

国土交通省は、海外インフラ展開を積極的に支援するため、これらプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定することとし、特に優秀な技術者については、表彰（国土交通大臣賞・国土交通大臣奨励賞）する制度を創設しました。

本制度により、本年度は技術者７０８名、１,０８１件の実績を認定するとともに、１７名に国土交通大臣賞、また１１名に国土交通大臣奨励賞を授与することとしました。受賞されました皆様に対し、心よりお祝い申し上げます。また、本制度に多数の応募を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

制度の運用に際しては「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会」を設置し、制度の検討や受賞者の選考に関して審議いただきました。委員の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後この制度が広く普及し、本邦企業の海外展開を強力に後押しすることを祈念しております。

２０２１年 3月 吉日

国土交通省総合政策局 国際政策課・海外プロジェクト推進課

※本冊子に掲載した写真は受賞者又は所属企業よりご提供いただいたものです。